

岡崎のまちづくり情報をお届けします!

# りた便り

Vol.

76

NPO法人 岡崎まち育てセンター・りた 機関紙(2008年1月1日)

## 新年のご挨拶

副理事長兼事務局長 小澤達夫

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には素晴らしい新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。昨年は、我々の基盤である北部及び南部地域交流センターの指定管理者としての運営、東部地域交流センター市民検討ワークショップのコーディネイト、岡崎市図書館交流プラザの市民サポーター活動の支援、近隣コミュニティ提案型地域づくりモデル事業を始め、各自治体様へ専門家の派遣等、多くの事業を行う事で、我々が目指す『新しい公共』の理念を社会に浸透させる政策を広く発信をすることができました。

さて昨今の社会情勢では、中央集権型社会が崩壊し、地方分権の名の下に、中核市となった岡崎にも、着実に国や県より権限を移譲されています。こうした中にあって我々が、本当の社会発展を目指すには、地方自治体を意識した地方分権でとどまるのではなく、住民分権という発想が必要であると考えています。

市民主体の力強い市民自治を作り上げていく為に、本年は『質』にこだわっていきます。岡崎市内に存在する多くの地縁組織や市民団体が、地域力により住民分権に十分に適合できる支援活動を、各交流センターの運営を通じ、行ってまいりたいと思います。

今後は、各センターの質の高い充実した運営はもとより“りた”の使命を果たすべく、「新しい公共」の理念を基に「持続可能な社会」の実現に向けて積極果敢に挑戦をしてまいります。会員の皆様におかれましては、尚一層のご支援、ご鞭撻を切にお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 住民分権の 年へ



岡崎まち育てセンター・りた

団体会員 (年会費 10,000 円)

個人会員 (年会費 3,000 円)

☆ご推薦の団体などお心当たりがありましたらご連絡ください。

事務局 (TEL 0564-45-4560)

会員募集中



# 平成19年『拠点運営』『まち育て』『人育て』 を振り返る

平成19年、岡崎まち育てセンター・りたは、多様な『拠点運営』『まち育て』『人育て』活動に取り組んできました。

**拠**点運営では、北部地域交流センターが開館から3年目を向かえ、市民団体の皆様や地元地域の皆様との連携事業（愛知県事業・なごみん横丁含む）を実施できました。南部地域交流センターでは、1周年記念イベントが盛大に行われ、2日間で8000名弱の来場者がありました。3号館である西部地域交流センターも、今年2月に開館を予定していますが、12月からスタッフ研修を進めております。あわせて、東部地域交流センター（平成23年開館予定）の市民検討ワークショップを企画運営し、地域の方々と大学生や障害者らの協議を支援してきました。

**ま**ち育てでは、岡崎市の中央に位置する康生地区の市民・行政の各種まちづくりを支援してきました。地元まちづくり団体である都心再生協議会の活動（シビコ西広場市民提案、籠田公園改修計画への市民提案）や、築150年を誇る古民家の保全と活用（3ページ参照）を支援しています。

同地区の再活性化拠点・岡崎市図書館交流プラザ（愛称 Libra）を盛り上げる市民サポーター活動（11プロジェクト）の事務局活動にも尽力しました。

**人**育てでは、主催講座として、先進的な市民活動やまちづくりの事例を紹介する講座、活動を進める上で役立つ講座（助成金申請他）を合計5つ実施しました。又、市内市外の市民団体や自治体（豊田市他近隣市町村）、あるいは大学からの要請にお応えして合計21講座の研修に講師派遣を行いました。一方で、岡崎市主催の委員会6つ（総合計画、中心市街地計画、市民協働他）に委員を派遣し、岡崎のまちづくりに対して提言活動を進めてきました。

今年11月には、地域交流センターの中央機能「市民活動センター」が、図書館交流プラザ内に開設されます。りた事業に従事するスタッフ一人一人も更にパワーアップしながら、更に心を込めて、岡崎の市民活動や地域活動を応援していきます。



子どものまち なごみん横丁

# 過去 - 現在 - 未来 を紡ぐ場所



康生の東のはずれ、六供町に約 150 年前の佇まいを色濃く残す、江戸時代末期に建てられた古民家があるのをご存知ですか？

文久 2 年（1862 年）に三河國総持寺の家老・石原東十郎によって創建された「石原邸」は、現在「石原邸's Cafe」というカフェとして運営されています。格子が整然と並ぶ静謐な外観を見やりながら一歩母屋に足を踏み入ると、ひんやりとした土間が広がり、仄明るい室内には年季を感じさせる什器が並んでいます。母屋を抜けると、木々の生い茂る中庭とつるべの井戸が姿を現します。炭がくべられた囲炉裏を囲んで中庭の景色を眺めながらいただくお茶の味は、また格別のものがあります。昭和 20 年の戦禍を奇跡的に免れたこの場所は、過去の暮らしの息吹を刻む岡崎でも数少ない歴史的資源の一つといえるでしょう。昨年の 10 月には、石原邸's Cafe を切り盛りする國友さんを中心に、「和の灯（わのあかり）」という市民活動団体が設立されました。この会は、石原邸を利活用し、江戸時代の空間の中で昔の暮らしを感じながら、もともと日本人が持っている生活の知恵や和の心を見つめなおすことで、次世代に心の豊かさを紡いでいくことを目的に活動しています。

岡崎まち育てセンター・りたは、「和の灯」と協働し、ゲストスピーカーを招いて、夜の石原邸に灯りをともして語り合う会「幻燈夜話（あかりやわ）」を企画しています。延藤安弘氏（愛知産業大学大学院教授）をお招きした第 1 回（10 月 12 日開催）は、ライフスタイルの変化や開発の波に飲まれる都市空間の中で、本当に大切にすべきものを訴えかけるお話に始まり、全国各地での歴史的資源を活用した様々な取組みの紹介があり、今後の「和の灯」の活動の道標ともなる内容でした。第 2 回（11 月 29 日）は、おかざき塾・歴史教室の市橋章男先生を迎え、現代に残る古道の痕跡から過去の暮らしを紐解くお話を伺いました。この中で、石原邸の前の道が稲前（いなさき）神社に通ずる「祈りの道」であったこと、石原邸の西側の石垣が「穴太（あのう）積み」と呼ばれる歴史的価値の高いものであることなどが明かされました。第 3 回（12 月 18 日）は、名古屋市東区榎木館でギャラリー兼喫茶スペースを運営されていた兼松はるみさん（自由空間）をお招きし、榎木館を舞台に活動されていた人々の想いや愛着から活動の展開を伺いました。歴史的資源は、ただ保存をするだけではなくて、生き生きとした人の営みがあって初めてその場所が新たな価値を持って息づくのだということを教わりました。

石原邸では、この場所を訪れる一人ひとりの「こんな風になりたい」「こんなことをやりたい」という想いを、手を取り合って実現していくことで、ひとつずつ歴史が刻まれていきます。皆さんもぜひ一度石原邸に足を運び、新たな歴史の 1 ページを刻んでください。（天野）

## 【石原邸's Cafe データ】

住所: 〒444-0072 岡崎市六供町杉本 70 Tel/Fax: 0564-24-0546

営業時間: 10～18 時(17 時オーダーストップ)※冬季は土・日・祝日のみ営業

ホームページ: <http://ishiharatei.net/>

### ①「りぶら管理運営協議会準備会」

日時：1月8日（火）13:30～16:00  
場所：市役所東庁舎702号室  
主催：教育委員会・康生地区拠点開設準備室  
内容：来年度開館の（仮称）岡崎市図書館交流プラザの運営方法を審議する。

### ②「東部地域交流センターWS⑤」

日時：1月13日（日）13:30～16:30  
場所：藤川学区市民ホーム  
主催：市民協働推進課事業推進班  
内容：東部地域交流センターの施設設計を考へる会の最終回。最終設計案の提示。

### ③「市民協働の課題と展望 ～三河地域の市民活動の現状から」

日時：2月2日（土）13:00～15:30  
場所：とよた市民活動センター研修室  
主催：愛知学泉大学コミュニティ政策研究所  
内容：豊田、安城、岡崎の市民活動センターが集まり、パネルディスカッション。

### ④「チラシづくり講座」

日時：1月31日（木）9:30～12:00  
場所：よりなん第1活動室  
主催：岡崎まち育てセンター・りた  
後援：岡崎市教育委員会（申請中）  
内容：広報計画の基本から、チラシのデザインまで解説。参加者を呼ぶコツを伝授。  
参加費：りた会員無料、一般500円



### 専門家派遣

…りたは、岡崎市内外の市民協働・市民参加のまちづくりを技術的に支援しています。

### ①「興正寺門前町の景観検討会議第4回」

日時：1月16日（水）13:30～1600  
場所：八事山興正寺（名古屋市）  
主催：日本都市計画家協会東海支部  
内容：景観形成のルールと行動計画づくり。

### ③「愛・地球博記念公園マネジメント会議準備会」

日時：1月24日（木）13:00～1500  
場所：国際児童年記念会館（モリコロパーク内）  
主催：愛知県・公園緑地課  
内容：県民参加による万博公園運営について。

### ②「とよた更生保護ワークショップ（1）」

日時：1月20日（日）13:00～16:00  
場所：豊田市福祉センター  
主催：豊田BBS会  
内容：更生保護活動の仲間集め。更生保護活動を理解し、今後の活動を展望する。



事務局  
より

8名の新人スタッフが  
1月から、いよいよ現地研修  
に出向きます！

〒444-2147 岡崎市西蔵前町字季平45-1  
岡崎市北部地域交流センター・なごみん内  
NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた事務局  
☎(0564) 45-4560 Fax (0564) 45-1560